



ORACLE®

2009年5月期 決算説明会

日本オラクル株式会社

2009年6月30日



ORACLE®

決算概要と業績予想

日本オラクル株式会社
執行役 専務 最高財務責任者
野坂 茂

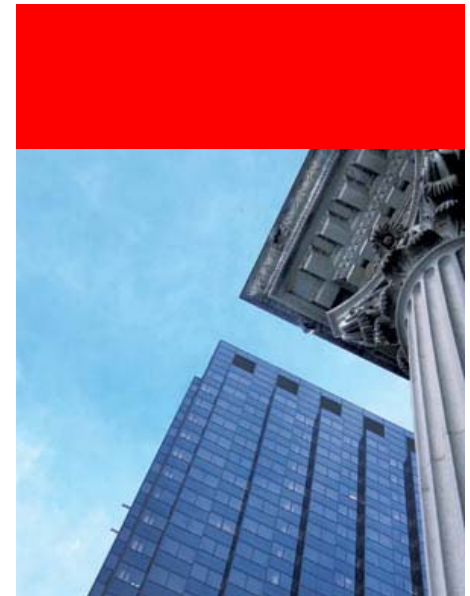


アジェンダ

- 2009年5月期 決算概要
- 2010年5月期 業績予想

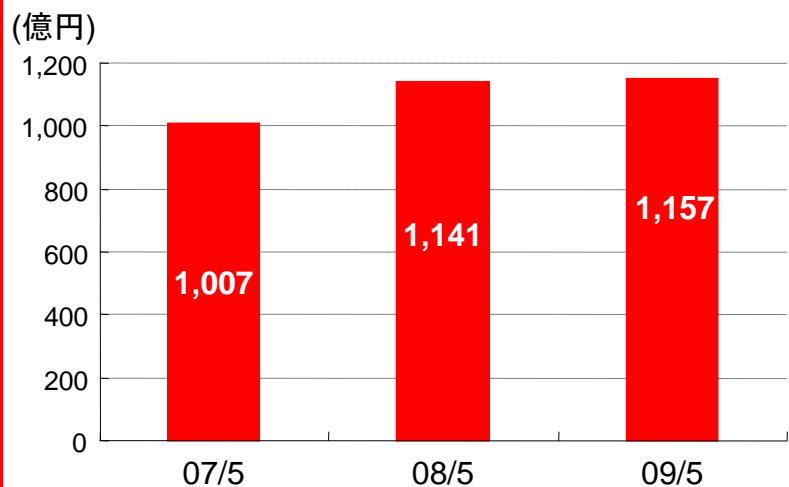


2009年5月期 決算概要

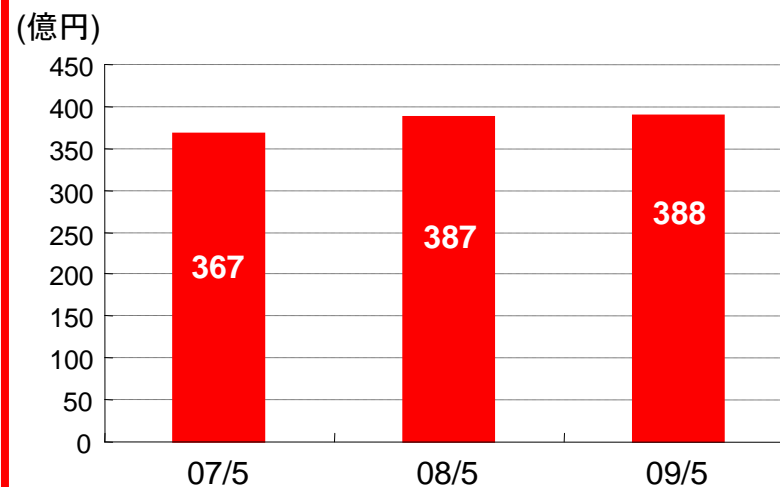


2009年5月期の業績ハイライト

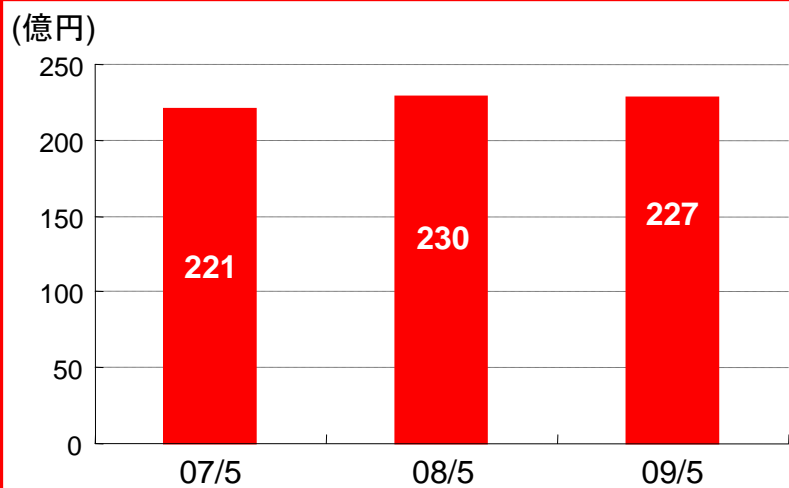
売上高 => 過去最高 1.5%増



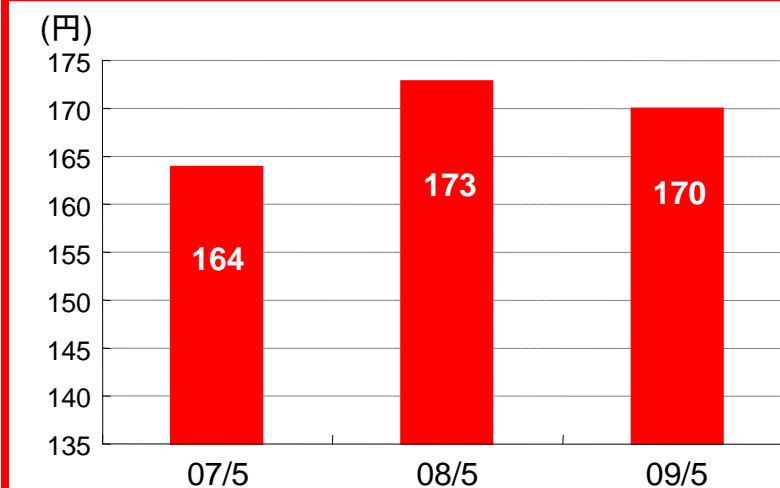
営業利益 => 過去最高 0.4%増



当期純利益 => 1.4%減



年間配当額 => 170円



ORACLE

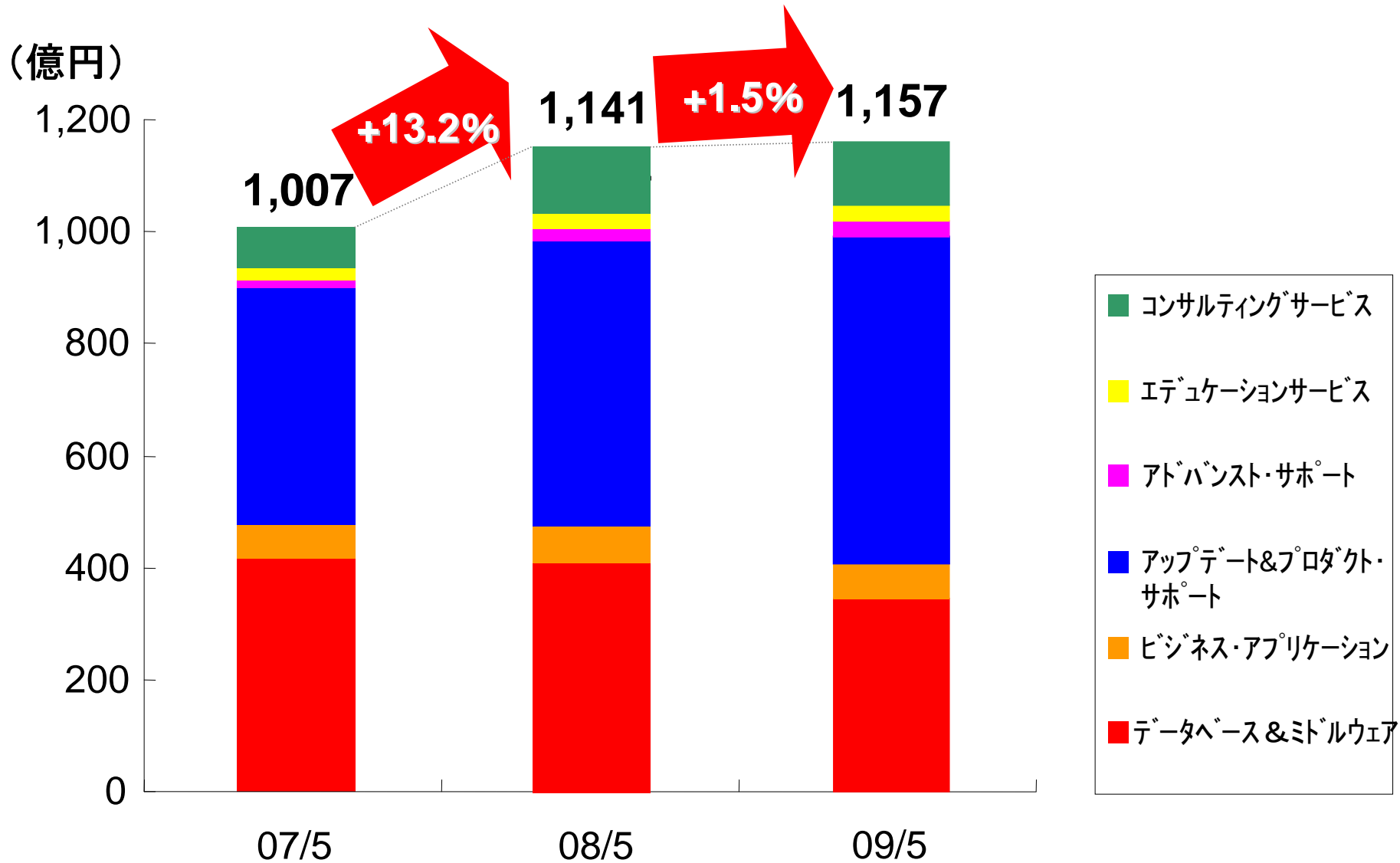
2009年5月期 部門別売上高

(百万円・表示単位未満切捨)

	08/5		09/5	
	実績	前期比	実績	前期比
データベース&ミドルウェア	40,753	-3.2%	34,765	-14.7%
ビジネス・アプリケーション	6,421	19.6%	5,775	-10.1%
アップデート&プロダクト・サポート	50,263	18.2%	58,549	16.5%
ソフトウェア関連小計	97,438	8.3%	99,090	1.7%
アドバンスト・サポート	2,101	43.2%	2,915	38.7%
エデュケーションサービス	2,551	20.7%	2,534	-0.6%
コンサルティングサービス	12,021	66.8%	11,247	-6.4%
サービス小計	16,674	54.6%	16,697	0.1%
合計	114,112	13.2%	115,788	1.5%

ORACLE

売上高・部門別構成の推移



ORACLE

2009年5月期 売上原価および販管費

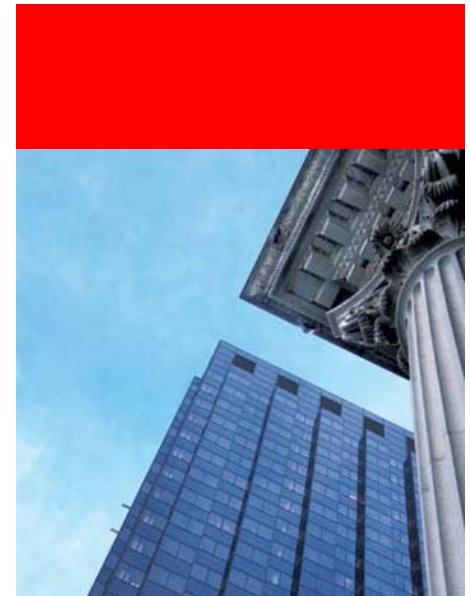
(億円・表示単位未満切捨)

費目	09/5	08/5	増減	コメント
売上原価	508	491	+16	
ロイヤリティ	372	352	+20	ソフトウェア関連売上増・買収製品増
人件費	98	89	+8	サポート部門の人員増
業務委託費	20	30	-10	コンサルティング部門の業務委託費減
賃借料	4	6	-2	本社ビル移転により減
その他	12	12	-0	
販管費	260	261	-0	
人件費	138	142	-3	
業務委託費	40	36	+3	営業提案コンサル業務等の増
広告宣伝費	16	20	-3	
賃借料	17	19	-2	本社ビル移転により減
その他	47	43	+4	
従業員数(人)	2,226	2,135	+91	BEAが加わったことによる

ORACLE



2010年5月期の業績予想



2010年5月期 業績予想

(百万円・表示単位未満切捨)

	10/5 予想			09/5 実績
	中間期	通期	前期比	通期
売上高	56,700	119,000	2.8%	115,788
営業利益	18,100	40,000	2.9%	38,877
営業利益率	31.9%	33.6%	0.0pts	33.6%
経常利益	18,100	40,000	2.5%	39,030
経常利益率	31.9%	33.6%	-0.1pts	33.7%
当期純利益	10,300	23,200	2.0%	22,740
当期利益率	18.2%	19.5%	-0.1pts	19.6%
1株当たり純利益	81.05円	182.55円	3.61円	178.94円
1株当たり配当金	70.00円	170.00円	-円	170.00円

ORACLE

部門別売上高予想

(百万円・表示単位未満切捨)

	10/5 予想			09/5 実績
	中間期	通期	前期比	通期
データベース&ミドルウェア	16,200	35,300	1.5%	34,765
ビジネス・アプリケーション	2,700	6,100	5.6%	5,775
アップデート&プロダクト・サポート	30,100	61,200	4.5%	58,549
ソフトウェア関連小計	49,000	102,600	3.5%	99,090
アドバンスド・サポート	1,600	3,500	20.1%	2,915
エデュケーションサービス	1,100	2,200	-13.2%	2,534
コンサルティングサービス	5,000	10,700	-4.9%	11,247
サービス小計	7,700	16,400	-1.8%	16,697
合計	56,700	119,000	2.8%	115,788

ORACLE

2010年5月期 営業経費予想

(億円・表示単位未満切捨)

	中間期	通期	前期比	前期実績
営業経費	386	790	20	769
主な費目				
ロイヤルティ	185	387	14	372
人件費	123	250	12	237
業務委託費	27	55	-5	60
広告宣伝費	10	17	0	16
ファシリティ関連費	19	38	-7	45

*費用の予想は売上原価と販管費を合算した営業経費として開示

ORACLE



ORACLE®

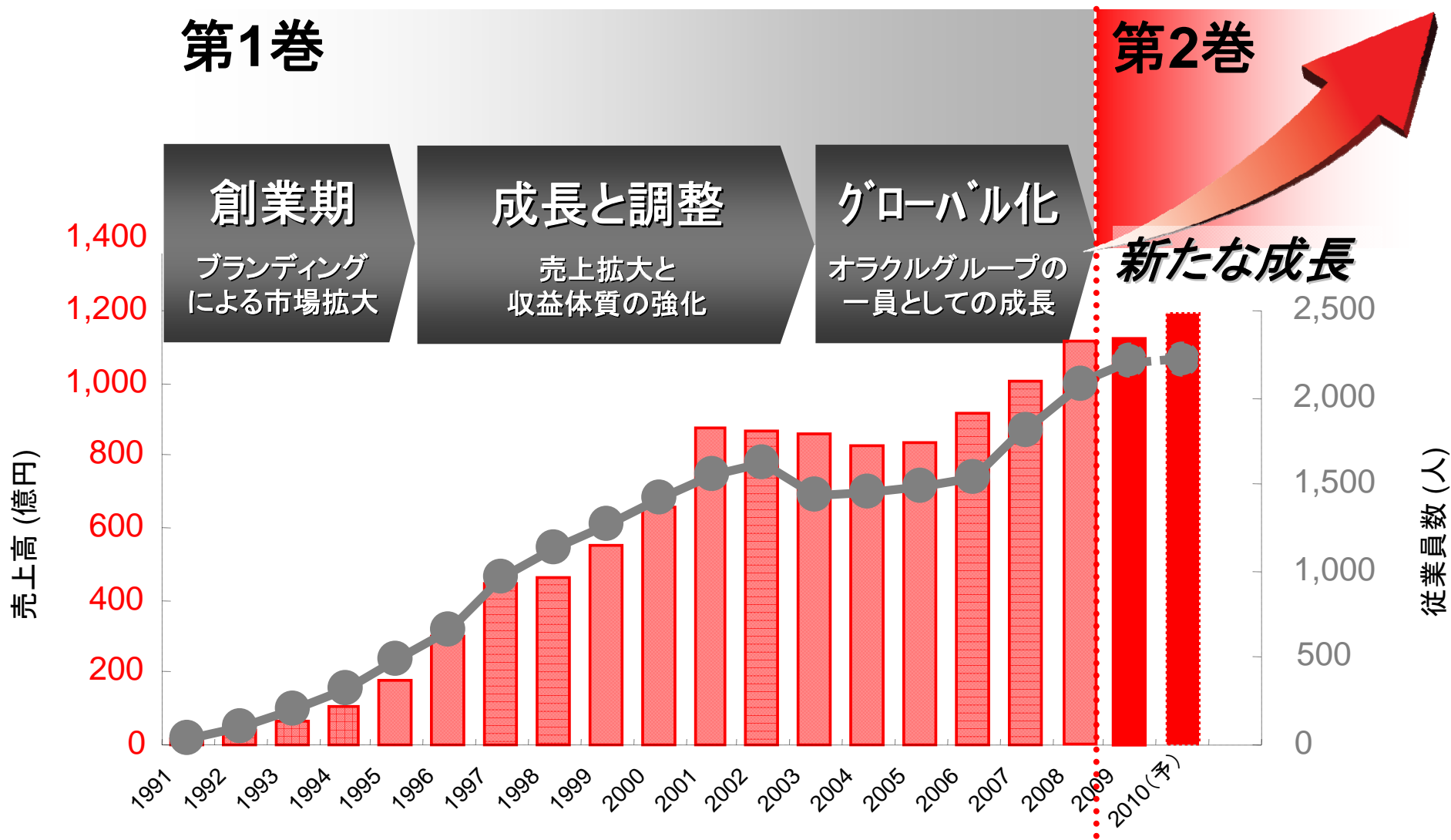
2010年5月期に向けて

日本オラクル株式会社

代表執行役 社長 最高経営責任者

遠藤 隆雄

日本オラクル第2巻のスタートから1年



ORACLE

2009年5月期の成果

✓ 市場カバレッジ強化

- お客様志向の営業体制に再編
- Oracle Directを利用したテレ・セールス、パートナー様との協業など、様々な営業チャネルを有機的に連携した市場カバレッジ力の強化

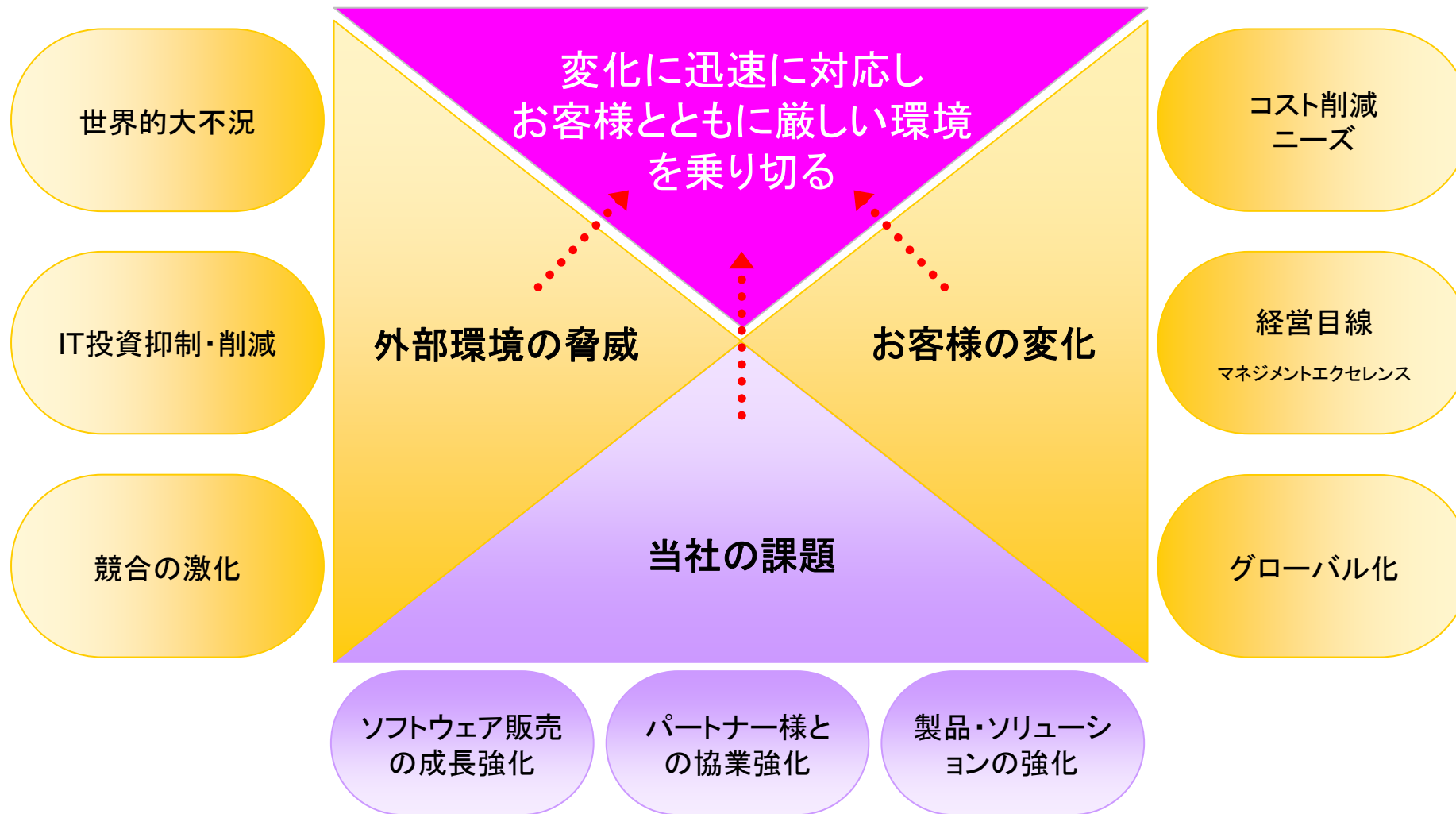
✓ 製品力の強化

- Fusion Middleware製品の大幅な成長
- ERP & Edge Applicationsの競争優位性 ~ Demantra, EPM, PLM等の案件獲得

✓ パートナーモデル強化

- パートナー様と共同ビジネスプランの策定
- パートナー様のフィールド営業部門との関係強化

当社を取り巻く環境

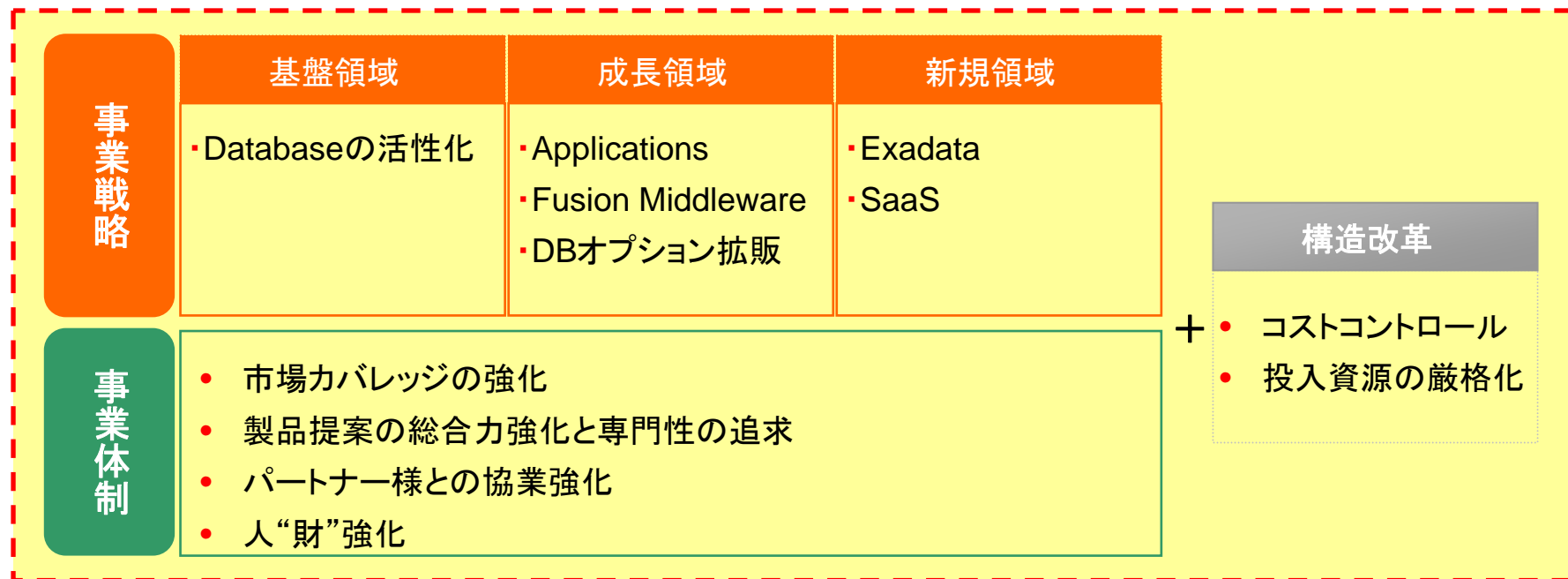


ORACLE

2010年5月期の成長戦略フレームワーク

ITの新しい価値を創造し
お客様の成功と社会の発展に貢献する

厳しい経営環境を克服



ORACLE

2010年5月期の重点施策

Database

- ・Exadataビジネスのドライブ
- ・11gの正しい価値訴求とオプション製品の拡販
- ・インストールベースのお客様にフォーカス

Fusion Middleware

- ・ Fusion Middleware11gによる、真に統合された
Middleware Platformの提供
- ・ EPM/BI製品によるManagement Excellenceの浸透

Application

- ・お客様の業種業態に特化したソリューションの強化
- ・Oracle Insightによるお客様のビジネス価値向上
- ・ローカリゼーション(日本市場向け共通要件の推進)

市場カバレッジの強化

製品提案の総合力強化と
専門性の追求

パートナー様との
協業強化

人“財”強化

ORACLE



注意事項

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

取材のお申し込みやお問い合わせは以下までご連絡ください。

インベスター・リレーションズ部

TEL 03-6834-6666

IR Web Site <http://www.oracle.co.jp/corp/IR/index.html>



ORACLE®

ORACLE®